

Instagram Facebook



HALE Magazine News 2021 Spring・Summer

寒いピークが過ぎ海に入りやすい時期になって来ました。

冬の間は北風や西風の爆風コンディションが多かったですが、暖くなるにつれて南風や東風が穏やかな風が多くなり、クルージングやライトウインドプレーニングが楽しめる時期です。

ビギナー＆初心者の方は、今年の夏は基礎を中級者はウォータースタートをマスターして、より沖を楽しみましょう！

プレーニングしない日はロングが楽しいです！
シェアクラブではロングボードもレンタルできます！

今回の会報では、おがりん気象講座・イベント情報・ウェットスーツの選び方や、アマノッチによる豆知識、レンタルで楽しめるシェアクラブ情報もご紹介しています！

...Let's enjoy Windsurfing...



＼ 今更聞けない！ / ウィンド豆知識

今回のアマノッチ豆知識は「ビーチスタート」について
ご紹介します。湾内を自由に走れるようになってきたら、
次にチャレンジしたいのはビーチスタート！
セイルアップよりもスムーズにスタートできます！

ビーチスタートはコンディションで使い分け

パターン1：止めて乗る

まずはパターン1「止めて乗る」をマスターしましょう。
練習に最適なコンディションとしては、**障害物となる波がないこと** & 沖に向かって**真っ直ぐ出艇できる風（サイド）**の状態です。はじめはなかなか難しいと思いますが、コンディションがいい時は積極的に練習しましょう。必ずできるはずです！

パターン1に慣れてきたら、パターン2の「走らせながら乗る」を練習しましょう。風が強い時や波があるときには必須！

さらに応用編のウォータースタートの練習方法もご紹介します。

解説

パターン1：止めて乗る



ボードの向きはアビームからクォーターリー
セイルに風を当てて、風の力でセイルが立っ
てきたら体をボードの上に乗せていこう。

腰を下げながら、体の向きは前過
ぎず、横過ぎず、中間。
セイルを上から下に押さえながら
走って行こう。

解説

パターン2：走らせながら乗る



超応用編

水抜きなしウォータースタート

ビーチスタートをマスターしたら、次はウォータースタートです。
風が強く、足がつかない場所では必須の技術です。
次回詳しくご紹介しますが、ウォータースタートの基礎練習として、
水抜きなしウォータースタートのステップをご紹介します。
練習の際は、ブームをテール側に乗せられる、グライダーのようにテール側に**スペースがある**ボードがおすすめです。



テイルを沈めてブームを乗せる。

セイルに風を入れて、肘を伸ばし、力
を抜いて、セイルの力で体を浮き上が
らせる

NEWS

道具の会員制シェアリング（レンタル）サービス始めました！！

「ショートボードを持っているけど、ロングボードも乗ってみたい」
「ショートボードでもWAVE用や違うサイズのボードに乗りたい」
「いろんなボードに乗ってみたい」
「コンディションに合わせて道具を選びたい」
「道具の保管や管理が大変だけど続けたい」

そんな方々に向けたサービスです！

シェアできる道具は、ロング、ショート、WEVE用、セイル、SUPなど
気分やコンディションに合わせて道具を幅広くシェアできます！

ウインド会員（ウインドサーフィン・SUP）

月々¥6,800(税込¥7,480) ～

SUP会員（SUPのみ）

月々¥3,800(税込¥4,180)～

詳しくはHALEスタッフまでお問い合わせ下さい！！



※wsf share club（ウインドサーフィンシェアクラブ 通称:シェアクラブ）